

日坂小学校・東山口小学校統合準備委員会（第7回総務部会） 協議録

日時	令和8年3月11日(水) 19:00～20:50
場所	東山口地域生涯学習センター
出席者	委員 20名 令和8年度日坂地区区長会長、令和8年度日坂小学校PTA会長 事務局 教育政策課長、学校再編室長、学校再編係長、主任、主事補
内容	
1	開 会
2	<p>あいさつ（教育政策課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 第6回総務部会では、校名の変更について、教育委員会に結論を一任するという事で意見がまとまった。これを受けて、改めて教育委員会で検討し、東山口小学校の校名を継続して使用することに決定した。また、2月に各地区の区長会で、その旨を報告した。校名については、様々な御意見や考えがある中で、教育委員会に判断を委ねていただいたことに感謝申し上げます。 ■ 本日の総務部会では、統合に向けた取り組みについて協議していただく。両校の児童が抱える不安を可能な限り取り除いた上で、新たな環境に移行したいと考えているため、そのような視点から協議いただければと思う。
3	<p>報告事項</p> <p>(1)保護者アンケートの実施結果について 資料1：日坂小学校・東山口小学校の統合に関する保護者アンケート 回答結果</p> <p>(2)統合後の通学支援について（要望書の提出と回答） 資料2：東山・日坂地区児童の通学に関する要望書について</p> <p><委員意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日坂の区長会で、教育委員会が学校名について報告する中で、教育部長が「複式学級は差異が生じる」と発言した。統合までの期間を複式学級で過ごす子どもたちがいる中で、教育行政からそのような発言があると、保護者や地域は不安を感じる。 ■ また「教育委員会は人事権があるため、複式学級にエリート of 教員を配置した」という発言もあった。教員の中に「エリート」という上下関係を指す表現があって良いのか。私は、比較しないことが教育だと思う。子どもたち一人ひとりを受け入れ、同じように成長していく。その中で、「差異」や「エリート」という表現は不適切だと思う。 ■ 保護者アンケートを見ると、統合に対して辛いと感じたり、涙を流したりする子がいることがわかる。また、東山口地区の保護者からも、東山・日坂地区が願う「誰一人泣かない統合」という部分に共感する意見が出ている。その中で、このような発言があると、教育行政に対して不信感を抱く。もう少し責任のある発言をしていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 本日、教育部長は出席していないが、おそらく、複式学級と通常学級を比較すると授業形態が異なるということを表現したかったのではないかと思う。 ⇒ 保護者や地区の皆さんにご心配をおかけしたことを、お詫びさせていただく。

4 協議事項

(1)校歌、校章

(2)その他

<事務局>

- 本日の協議では、統合に向けて、総務部会として取り組みたいと考える事業について、意見をいただきたいと思う。

<委員意見>

- 校名の議論でも話題に挙がったが、決定権はどこにあるのか。総務部会は、意見を出し合うだけの場なのか。
 - ⇒ 予算が必要な場合は、庁内協議が必要となる。それ以外の事業は、総務部会の中である程度決められることができると思う。
 - ⇒ ただ、学校現場に負担のかかる事業は、学校と相談した上で判断する必要があると考えている。また、地域が主体となって実施するものについては、地域の中で検討していただく必要がある。そのため、総務部会で出た意見を、各実施主体で検討し、実施の可否を判断する必要がある。

<事務局説明>

資料3：学校の統合に伴う校歌の変更について

- 校歌を変更するには、新しい校歌をつくる方法と、既存の校歌を編曲する方法がある。
- ただし、既存の校歌を編曲する場合は、著作権者の承諾が必要となる。著作権法では、著作者の死後70年間は、著作権者の権利が保障されている。法律上、権利者の承諾が得られなければ、曲の一部であっても変更することが認められない。
- 作詞者・作曲者のいずれも、おそらく死後70年が経過しておらず、著作権が失効していない可能性が高い。また、市外在住者のため、親族を探すことが難しく、著作権者の承諾を得られない状況だ。したがって、既存の校歌の編曲は、ほぼ不可能である。
- 校歌を制作する場合、作詞・作曲を専門家に依頼するのであれば、謝礼を支払う必要がある。校歌に係る予算は、令和8年度の当初予算に計上されていないため、年度途中で補正予算を計上する必要がある。
- ただ、予算を抑えて校歌を制作することも可能であると考えている。歌詞については、子どもたちや地域で検討するのであれば、基本的に費用がかからない。また、地域内に作曲を依頼できる方がいて、ご厚意で引き受けていただければ、費用を抑えられると考えている。

<委員意見>

- 新しい校歌をつくる場合は、これまでの校歌の著作権者の承諾が無くて良いのか。
 - ⇒ その必要はない。
- これまで東山口小学校の保護者の意見を聴く機会が少なかったが、アンケートの結果を見ると、東山口小学校の保護者の中にも、校歌や校章を変えても良いという意見がある。予算の課題があると思うが、新しくする方向で検討しても良いと思う。
- 校歌の作詞・作曲を専門家に依頼する場合、予算の相場はどれくらいか。
 - ⇒ 依頼者によって異なるため、目安になる金額は無いと思う。
 - ⇒ 他自治体の事例を見ると、十万円単位の予算を計上している場合が多い。

- 校名の議論のように、統合に間に合わないという理由で実施できない事態は避けたい。早めにスケジュールを組めるようにしてほしい。
 - ⇒ そのために、今日の協議で実施したい事業を出していただき、優先順位を検討していきたいと考えている。
- 保護者アンケートでは、教職員の負担が子どもたちに影響を及ぼすことを不安視する意見も寄せられている。やはり、教職員の負担の軽減が必要だと思う。ただ、東山・日坂地区としては、統合に向けて、できる限りのことはしたいと考えている。何が学校の負担になるのか、何が地域で実施できることか、はっきりさせてほしい。
- 地域で歌詞を考える場合、様々な想いがあるため、かなり時間がかかるのではないかな。
- 東山口小学校の校歌を見ると、1箇所のみ「東山口小学校」という単語が出てくるが、それ以外は、将来に向けた子どもたちの学びの姿勢を描いた歌詞となっており、決して地域性の強い歌詞ではない。日坂小学校の校歌も同様だ。単に、校歌を変更するか否か議論するのではなく、なぜ変えたいのかという部分も議論して良いのではないかな。
- 校章を変更する場合は、校旗や体育館の緞帳など、様々な費用がかかるのではないかな。
- 地域内に、作詞や作曲を依頼できる方がいる可能性はあるのか。私は、心当たりがない。もし依頼できるのなら、新しい校歌をつくりたい。ただ、授業の中で校歌を制作すると、教員の負担に繋がる。そのため、検討会を立ち上げ、協力できる保護者に参加していただく形で進めれば良いのではないかな。
 - ⇒ 学校の授業で校歌を制作する必要はないと考えている。
 - ⇒ 子どもたちだけでなく、地域の皆さんも一緒に制作するのであれば、学校以外の場で検討いただければと思う。
 - ⇒ 校歌については、実施方法も含めて、今後検討していく。
- 東山口小学校の体操服は、校章が入ったデザインである。もし、校章を変える場合は、体操服のデザインも変える必要があり、予算がかかると思う。そのため、校歌の制作に注力する方向で検討した方が良いのではないかな。
- 新しい校歌をつくるなら、歌詞に「栄川」という単語を入れてほしい。
- 地区の祭典では、みんなで日坂小学校の校歌を歌う文化がある。ただ、閉校によって、日坂小学校の校歌を知らない子どもたちが出てきたときに、何の歌か分からない状況になってしまうのは、可哀そうだと思う。例えば、統合して数年間は、卒業式で両校の校歌を歌うなど、既存の校歌を引き継ぐことも考えたい。
- 両校の校歌を見ると、「新しい」「希望」「輝く」など、共通する部分も多い。東山口小学校の校歌には、1箇所だけ「東山口小学校」という地域を表す単語が出てくるが、ひとつの小学校区になるので、変えなくても違和感はないと思う。
- 新しい校歌が完成した状態で、開校を迎えた方が良いと思う。ただ、1年という短い期間で、作詞・作曲者を探し、完成できるのか疑問だ。
- さかがわ幼稚園では、半年で統合準備を行ったので、可能だと思う。
- 校歌よりも校章の方が、地域内にデザインを考えられる人がいる可能性が高いと思う。
- 両校の校歌も、東山地区のことが全く含まれていないため、歌詞に入れてほしい。また、言葉が古いため、新しく考えることで、時代に合った校歌をつくれるのではないかな。
- 東山小学校の統合を経験したが、初めて日坂小学校の校歌を見たとき、歌詞に東山に関する記述がないことが気になった。統合するなら、新しい校歌を考えてほしいと思う。

- さかがわ幼稚園の校歌は、どのように制作したのか。
- 地域で作詞者を募集したが見つからず、PTA 役員の方が歌詞をつくったと伺っている。
- 日坂小学校の閉校記念事業の準備委員会では、前向きな気持ちで記念事業を行いたいという意見がたくさん寄せられている。子どもたちや保護者、地域と一緒に新しい学校をスタートできるように、東山口地区にも協力をいただき、みんなで新しい校歌をつくりたいと思う。
- AI を活用して校歌を制作することも検討して良いと思う。
- 校歌を変更すると、令和9年4月に向けてのスタートが難しくなるように感じる。もし変えるのであれば、地域で協議する時間が必要であり、時間を要すると思う。
- 校歌を変えることで、3地区で新しい学校をつくるという意識を共有することができると思う。私は、みんなでサブ校歌を制作できれば良いと考えていたが、説明を聞くと、校歌を制作する場合と労力があまり変わらないように感じるので、せっかくなら新しい校歌をつくりたいと思う。
- 校章は、様々なものに使われているので、校名のように変更が難しいように感じている。
 - ⇒ 校名ほど利用される場面は多くないが、費用がかかるものであるため、市の財政状況を踏まえると、予算が計上されない可能性が高いと考えている。
- 運動会について、アンケートの回答にある通り、人数が増えるため、競技を増やしたり、今までとは違う内容を行ったりしてほしい。
 - ⇒ アンケートの回答にあるように、地域の方と一緒に競技を行ったり、子どもたちの交流を行ったりする内容であれば良いと思う。ただ、単にプログラムを増やすだけでは、保護者の皆さんは喜ぶかもしれないが、あまり統合と関係がないと思う。

<東山口小学校長>

- 運動会で新しい種目を追加する場合、編成を考えたり、安全性を確認したりするなど、何ヶ月もかけて検討する必要がある。
- 地域との関わりの一つに、東山口音頭がある。運動会の練習では、子どもたちは地域の方に東山口音頭を教えていただき、本番当日は、保護者や地域の方と一緒に踊っている。

<委員意見>

- 原田小学校と原谷小学校の統合の際は、何か取り組みを行ったのか。
 - ⇒ 統合の準備期間が短く、このような地域協議を行っていないため、検討しなかった。学校でも特に実施していないはずだ。
- 初回の統合準備委員会では、スケジュールに関する資料が配布された。当初の計画では、保護者や地域が主体となる交流事業については、今年度中に準備を終え、4月から実施する予定となっていた。交流事業については、実施の可否も含めて、引き続き検討する必要があると思う。
 - ⇒ 交流事業については、必ず実施しなければならないものではない。地域の方から、交流に関する意見をいただいたため、検討すべき事項の案として載せている。
 - ⇒ もし、地域から実施したいという提案があれば、実施方法や時期を検討しながら、準備を進めることになる。
- アンケートで、学校施設に関する意見が出た。東山・日坂地区の保護者や地域住民は、東山口小学校を訪れた経験が少ない。そのため、保護者や地域住民で、東山口小学校を探検し、改善点を出し合うのはどうか。子どもたちが通う姿もイメージできると思う。

- 子どもたちに、やってみたい取り組みについて意見を聴く予定はあるのか。
 - ⇒ 時期的な制約から、子どもたちの意見を聴く場を設けられない可能性もあるため、まずは大人の視点で検討していただきたいと思う。
- 地域で校歌をつくる場合でも、市が予算を出してくれるのか。
 - ⇒ 費用がかかるものについては、予算要求をする必要があると考えている。
- 統合後の PTA については、ここで話し合うのか。
 - ⇒ 学校や両校の PTA 同士で話していただくことになる。
- 保護者アンケートで、ウォークラリーに関する意見があった。子どもたちが、お互いの地域の良い所を紹介しながら実施できれば、仲良くなれると思う。
- 地域から、学校に協力したいという意見が出ているので、引っ越しのスケジュール等が決まっているのなら、教えていただきたい。
 - ⇒ 既に、学校と相談しながら、引っ越しのスケジュールを検討している。
 - ⇒ やはり、3月末に運ぶ必要のある備品が多く、原田小学校の統合の際は、保護者や地域の方にも協力していただいた。そのような場合は、学校から依頼があると思う。
- 運動会について、児童数や競技数が増加することで、午前中のみ開催から全日開催に変更するのか。また、市内の小学校は、平日開催が多いそうだが、統合を機に、東山小学校も平日開催に変更するのか。その辺りの計画を教えていただきたい。

<日坂小学校長>

- 近年では、大多数の学校が、運動会を半日で開催している。授業内容や活動が増加している現状を踏まえ、子どもたちの負担を軽減するため、そのような判断をしている。
- また、教職員の働き方改革の観点から、平日開催の学校も増えている。ただ、日坂小学校は、地域との繋がりが強い学校なので、土曜日に開催している。
- 来年度は、統合が控えているため、地域の方も一緒に参加できる競技を計画するなど、少し内容を変えて開催したいと考えている。

<東山小学校長>

- 東山小学校も、運動会を土曜日に開催している。例年、5月最終週に開催していたが、雨天延期が多いため、来年度からは、5月第3週に変更する。また、東山・日坂地区の茶農家の方は、5月最終週の開催だと参加が難しいと伺っているため、統合後も1週間前倒しで開催した方が良く考えている。
- 半日開催の理由は日坂小学校と同様だ。近年の気温上昇を踏まえると、運動会の練習を長時間行くと、体調を崩す児童がたくさん出てしまう。また、創造的な活動であれば、練習に時間がかかるため、他教科の授業に影響が出てしまう。その辺りを考慮しながら、運動会の準備を行っている。
- 統合するので、教育目標や校訓も検討してほしい。また、日坂小学校区の児童の方が、人数が少ないため、座席の配慮など、心のケアをしてほしい。
 - ⇒ 教育目標については、両校で相談しながら検討する予定だ。
 - ⇒ 学校の先生方には、交流を通して、子どもたちの様子を把握していただいております。子どもたちの特性をある程度理解した上で統合することになる。学校の先生方も、その辺りに気を配っているため、安心していただければと思う。

(3)事務連絡

- 次回開催予定：4月10日（金）19:00～ 日坂地域生涯学習センター

